



ろうそくに火をともし、韓国の童謡を歌いながら平和を祈る参加者

日韓つなぐ火 世界平和祈る

広島

広島原爆投下後の「そくにともし、平和に残り火とされ、福岡県」について考えるイベントが5日夜、広島市中区「平和の火」をろうそくの韓国人原爆犠牲者慰

霊碑前であった。世界平和の実現を祈るため、日韓の約60都市で同様のイベントが月内に催される。

大阪市の市民団体キヤンドルナイトワンピース実行委が主催。平和の火は、八女市で採火された後、在韓被爆者が多く住む慶尚南道

・（カンナダ） 陝川を経由し、広島市に届けられた。

平和記念公園（中区）の慰霊碑前では、参加者12人がろうそくに

点灯。日本被団協の坪井直代表委員は「私たちが平和のために尽くします。安らかに眠ってください」とあいさつ。全員で、韓国の童

謡を歌って平和を祈った。

（東海右佐衛門直柄）